

地域に根差した農業クラスター形成による地方創生への支援

提言 4. 地域エネルギー導入への支援

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

T P P 発効に備えて国内産地の生産基盤を強化するためには、意欲ある担い手の規模拡大や先進技術の導入を積極的に進め、一層の安定生産・安定供給に取り組んでいくことが必要です。

農業者が、そうした攻めの農業を展開していくためには、価格の先行きが不透明な化石燃料から、再生可能で温室効果ガスである二酸化炭素の排出削減にもつながる地域エネルギーを安定確保していくことが必要となります。

そこで、現状では導入コストが高く、未利用となっている、地中熱利用等の地域エネルギーの導入への支援策の充実を提言します。

【政策提言の具体的内容】

○利用の進んでいない再生可能な地域エネルギー導入への支援の充実

導入コストが高価なため、利用がほとんど進んでいない地中熱利用や熱交換等の地域エネルギーを活用したハウス内温度管理システムの導入を支援すること

【政策提言の理由】

- 1 施設園芸の生産コストに占める燃料費は大きく、輸入野菜にシェアを奪われることがないよう、競争力を高め、安定生産・安定供給していくためには、燃料費の削減は重要です。
- 2 今後、農業者が攻めの農業を展開していくためには、価格の先行きが不透明な化石燃料から、再生可能で温室効果ガスである二酸化炭素の排出削減にもつながる、地域エネルギーを安定確保していくことが重要です。
- 3 そこで、現状では、導入コストが高いため、利用の進んでない地中熱利用や熱交換等の地域エネルギーを活用した温度管理システムを既存ハウスに導入できる支援制度の創設が必要です。

提言4. 地域エネルギー導入への支援

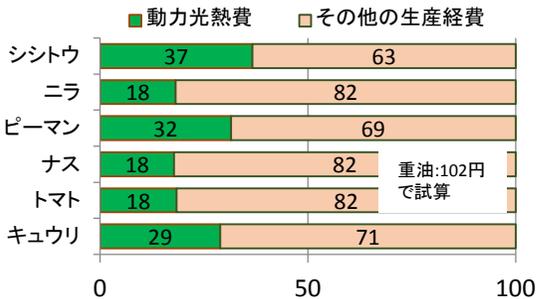
現状と課題

- 高騰傾向にあった重油価格が下落
→乱高下する価格に、農業者は先行き不安！

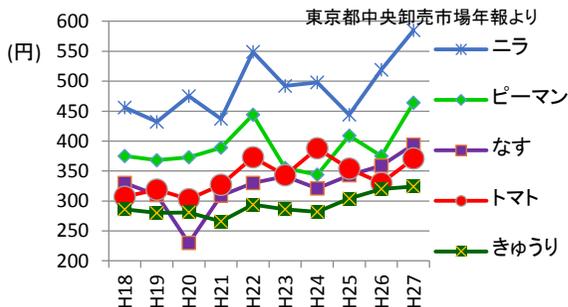


四国の産業用A重油価格の推移
(小型ローリー納入価格:円/L 消費税抜き)
H28.3.8 資源エネルギー庁HPより

- 施設園芸の生産費に占める動力光熱費の割合:大



- 野菜の単価はやや上昇傾向にあるが不安定！



利用が進んでいない再生可能な地域エネルギー導入への支援の充実

化石燃料からの脱却！



施設園芸での活用が一定進む木質バイオマス！

CO2の排出量削減！



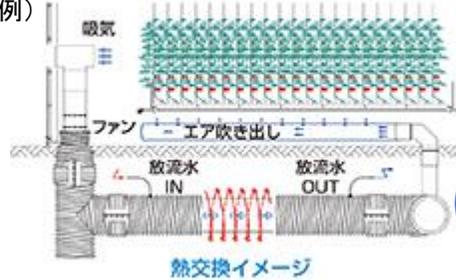
全国各地の次世代施設園芸団地でもバイオマスを活用！

持続可能な農業へ！

エネルギーの自給率UP！

さらに、未利用な地域エネルギーを活用できる新技术を確立していく必要あり！

例)



愛知県の次世代園芸団地で導入されている地熱エネルギーの利用

例)



高温対策のパッド&ファン

現状ではコスト高が大きな課題！

これらの技術を、新規のハウスと一体的に整備するメニューはあるが、既存のハウスへの整備を支援できる施策を創設

提言内容

- 導入コストが高く、利用が進んでいない地中熱利用や熱交換等の地域エネルギーを活用したハウス内温度管理システムの導入を支援すること